

2021年 第104回放送番組審議会議事録

1. 開催日時 2021年 5月 31日 (月)
2. 開催場所 書面開催 (放送音源を聴取後、審議委員の意見書を集約)
3. 審議会委員
吉田 周平 委員長
大塚 智弘 委員
吉村 俊雄 委員
山野井 崇二 委員
横谷 弘美 委員
村井 やよい 委員
4. 放送事業者
岩本 康 代表取締役 社長
本橋 安行 取締役 第2事業部長
小林 和紀 エフエム世田谷担当課長
中戸川 宏平 エフエム世田谷担当係長
太田 良 担当
5. 議題 『世界に届け！ 世田谷おもてなしプロジェクト』
毎週火曜日 12時30分～13時放送
制作：エフエム世田谷
放送音源 「2021年 4月 20日 (火) 放送分」
6. 議事の概要 (1) 番組の試聴
(2) 意見書の集約・回答
(3) その他

7. 審議内容

審議委員6名全員から放送番組に対する「意見書」の提出があり、放送事業者で集約を行った。番組への意見・質問、エフエム世田谷への助言・提言と、放送事業者からの回答は以下のとおり。

< 審議委員からのご意見：番組関連 >

- ・新型コロナウイルスによりオリンピック開催の可否も定まらない中、オリパラを盛り上げる番組はピンとこない。番組の構成も世界各国の「こんにちは」は唐突な印象。インタビュー相手のブラックラムズもラグビーチームで、オリンピック競技ではなく少しずれている。
- ・番組の趣旨が伝わりにくいので、番組冒頭部分で「この番組は〇〇していく番組」ですという説明が必要ではないか。
- ・オリパラに特化した番組であれば、言語のほかに、その国の代表選手やメダルの獲得

状況などを盛り込んでみてはどうか。

- ・番組のメイン内容と別にミニ知識のコーナーがあるのは、番組の中で変化があり、良かった。「おもて梨ちゃん」の声は、とても可愛く子どもから大人まで受け入れやすい声だとは思いますが、少し甲高くてボリュームを下げたくなる。もう1段階トーンダウンした方が耳触りが良いと思う。
- ・選手のお気に入りのお店紹介は、世田谷のローカル色が出ていて良い。紹介した選手のプロフィールや店の詳細を番組SNSに誘導して欲しい。リコーブラックラムズは番組後半でチームのSNSへ誘導しているので、相互リンクが貼れると良い。
- ・地元の団体を取り上げ、チームが地域の見守り活動などで貢献しているのが分かった。選手たちも商店街をよく利用し溶け込んでいる。最高の番組だった。
- ・世田谷おもてなしプロジェクトに、日本の伝統芸能、お囃子、神輿、三味線、尺八、民謡、茶道等を入れられないか。
- ・番組名その他のネーミングから、オリパラ関連での企画と連想せざるを得ないもののオリパラ関連要素を前面に出しにくい状況ながら、話題やメッセージの選び方もよく考慮されていると感じた。
- ・ラグビーチーム→ラグビー関連だけでなく、地域に溶け込むような取り組みが行われていることを知ることができて興味深く拝聴した。本来であれば関わる一部の人しか知らないような地域貢献活動も、放送で取り上げられることで、リスナーや区民の関心を高め、地域貢献活動への理解促進や気運醸成につながる、よい循環をサポートできるのでないかと感じた。
- ・地域放送局として、地域コミュニティ番組の必要性を強く感じた。スポーツ団体だけでなく色んな団体があると思うので、話題性のある番組を作って欲しい。

< 審議委員会からのご意見：エフエム世田谷全般 >

- ・パーソナリティの武田佳子さんが自身のブログで番組の情報をアップしている。他の番組でも同じようにSNSでアップしているケースがあるなら、もっと活用（連携）できないか。
⇒局内で番組ブログ等の状況を確認し、エフエム世田谷の公式ツイッターから「リツイート」を行うなど、相互に連携を図っていきます。
- ・新型コロナウイルスに特化した情報コーナーはあるか。あるのであれば、放送頻度を高くしてワクチン接種情報や区民・弱者のお助けになれるようなコーナーになっていると良い。
⇒朝の生ワイド『Bee Up! Setagaya』、土曜日の『サムデイ・プティ・シエル』では、「三密を避ける」「不要不急の外出を控える」注意喚起や「ワクチンの接種予約の状況」など、連日コロナ関連の放送を行っています。平日夕方のニュースでは、直近の世田谷区内の新規感染者数・累計感染者数を放送しています。
- ・世田谷区の防災放送（街頭スピーカーからの放送）も、番組パーソナリティの音声にならないだろうか。（従来の硬いアナウンスではなく）
- ・もうすぐ梅雨入りである。水害等の状況を少しづつ増やしてください。
- ・世田谷アラートシステムは、エフエム世田谷のHPから緊急情報がリアルタイムで文字で表示され、後追いで確認ニーズにも対応している。今後、テキストデータから聴覚・触覚等での情報アクセスにも展開可能であれば、情報受け取り手段について選択肢を広げる形となり得る。

- ・ 割込み放送の自動化について、審議会席上でサンプルを披露してもらいたい。
⇒今回は書面開催となってしまいましたが、対面での放送番組審議会が再開されたときには、実際に訓練放送を聴いていただきたい。
- ・ ポッドキャストは、活用方法のPR等とあわせて、ページ構成やページ内リンクを工夫すれば、もっとアクセスしてもらいやすくなると感じました。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- 公表の方法 : 自社ホームページ (<https://www.fmsetagaya.com/>) へ掲載
: 自社制作番組『番組審議会からのお知らせ』による放送
- 公表の内容 : 上記議事録の通り
- 公表年月日 : 2021年 6月 5日 (土)

9. 次回開催 2021年 8月 16日 (月) 11:00~12:00 予定